

産業戦略室

近年、画像医療システム産業を取り巻く環境は、医療 ICT の発展や医療機器プログラムの法定化、ヘルスフトウェアへの広がりや AI(人工知能)、IoT、ビッグデータ等の技術革新が進み、スタートアップ、ベンチャー、異業種の新規参入や GAFAM 等の巨大企業の参入等、急速に変化してきている。

2024 年度に向けて、地政学的なリスクの更なる増大、医療機関におけるサイバーセキュリティや働き方改革への対応強化、AI 技術の進化、医療情報のデジタル化の加速、SDGs への取組み拡大などの外部環境変化を注視し、会員との情報共有、協働を進める。

産業戦略室は、このような外部環境変化に対する画像医療システム産業の対応方法を企画する。さらに、他団体との連携や対外的な情報発信・政策提言の実績を積み上げ、JIRA 全体戦略の企画・立案・発信に結実させる。

2024 年度の JIRA 活動基本方針は、「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025」にある 4 つのビジョンの実現を目指し策定されている。

今後 3 年間は、「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030」の実現に向けた課題設定や体制整備に取り組む。JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030 の骨子は、以下。

1. JIRA 産業の振興と関連領域との連携強化
世界をリードするイノベーションの創出とその早期社会実装・有効活用を推進し、関連団体との連携強化による相乗効果を実現する。
2. 「データが変える医療」の実現に向けた環境整備
新たなデータ活用技術による業務効率化とより高度な医療を提供するシステムの社会実装に向けた環境を整備し、データが変える医療を目指す。
3. 医療機器に即した法規制、保険制度の実現
医療機器 (SaMD 含む) に即した法整備の提案と予見性のある診療報酬制度の具体化により、JIRA 関連産業の拡大を目指す。
4. グローバル市場での競争力の強化
画像医療システムに関連する企業がグローバルに開発・製造し競争力を得る環境 (国際整合、公平性等) を行政と協働で実現する。
5. 持続可能な医療を提供する産業構築
事業継続の阻害要因に対応した商品の提供と予見される事態への事前準備、及び環境負荷に配慮した商品の提供により安全・安心で安定した医療を可能とする。

以下に、2024 年度 産業戦略室活動計画の全体を示す。

1. 本会産業戦略の企画・立案・発信

- (1) 政策企画会議主催・運営による本会産業戦略実行強化
- (2) 研究会、勉強会等を開催し、画像医療システム産業の方向性を検討
 - ◆ 参加者視点での画像医療システム産業研究会の開催 (開催時間&回数・見逃し配信などを充実)
 - ◆ 今後の方向性を模索する
- (3) 本会産業戦略のプレスリリース企画、推進
 - ◆ ITEM in JRC2024 JIRA 記者会見 (2024 年 4 月)
 - ◆ JIRA 会長 年頭記者会見 (2025 年 1 月)

- (4) JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030 の実現に向けた課題策定・体制整備
- ◆ 健康・医療データの取り扱い、社会実装拡大に向けたデータ利活用基盤の整備
 - ◆ AI-SaMD の検診領域での応用拡大推進(関係団体との連携と提言)
 - ◆ 製造販売業者による、市場稼働結果の収集を活用した迅速なバージョンアップの仕組み構築
 - ◆ AI やデジタルヘルスの保険償還の予見性向上等の推進
 - ◆ 国内外での状況変化や行政動向情報の会員企業との共有、要望の収集・整理、課題解決に向けた対応
 - ◆ 外部環境変化を踏まえた、JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030 の推進
- (5) 工業会活動の基盤強化
- ◆ 会員企業の事業強化や人材育成につながるオンラインセミナー・ウェビナーの開催
 - ◆ JIRA 会員企業と医療従事者を結び、医療従事者のニーズ把握・JIRA 会員企業からの情報発信を円滑に実施できるプラットフォームを構築・運用する。

2. 年度活動基本方針の提案、各部門が作成する事業計画、事業活動報告の取り纏め

- (1) 2023 年度 JIRA 事業報告の取り纏め (2024 年 4 月～6 月)
- (2) 2023 年度事業報告、2024 年度活動基本方針及び事業計画に関する社員総会資料作成(2024 年 5 月～6 月)
- (3) 2025 年度 JIRA 活動基本方針の提案、取り纏め (2024 年 10 月～12 月)
- (4) 2025 年度 JIRA 事業計画の取り纏め (2025 年 1 月～3 月)

3. 産業戦略に関する内外の情報収集・調査・根拠データ作成、発信

- (1) 関係省庁、医機連からの情報収集と会員へ配信
- (2) 中長期課題の設定
 - ◆ 2024 年度はプログラム医療機器に関して検討する
 1. 例:会員の事業展開の方向性把握、海外を含めた動向調査、ポジションペーパーの作成等
- (3) 産業戦略に関する内外の情報収集・調査と DATA BOOK での発信
 - ◆ DATA BOOK2024 発行(2024 年 4 月)
 - ◆ DATA BOOK2025 企画・執筆・編集(2024 年 12 月～2025 年 3 月)
- (4) 市場統計(売上・受注)の運用支援

4. 産業戦略に関する行政機関、関係機関等との交渉・調整等の活動

- (1) 内閣府、厚生労働省、経済産業省等、省庁との対話会等への提言作成支援
 - ◆ AI(人工知能)の社会実装拡大と将来の活用形態を見据えた法律・環境整備への提言
- (2) 外部団体と連携した提言活動強化
 - ◆ 日本メディカル AI 学会学術集会参画
 - ◆ 医機連、医療機器センター、AMED、MEJ、日本メディカル AI 学会、JRS、JCR、JART、JSRT 等との連携
 - ◆ 増加する SaMD 関連団体の実態把握、連携強化